

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和4年度第3回公民館運営審議会
日 時 令和4年10月27日(木) 午前9時30分～12時00分
場 所 国分寺公民館 視聴覚室
委 員 出席者 中川 賢一、田熊 利光、高橋 佳枝、石崎 勝二、
高橋 裕美、北村 優子、篠原 文子、小林 直子、
上野 文夫、鈴木 祐孝、羽石 孝子、小堀 潔美
欠席者 石田 節男、津野田 久江、板垣 博史

教育委員会 国分寺公民館長 神山 裕
石橋公民館長 櫻井 亜佐美
南河内公民館長 齋藤 光利
生涯学習文化課 主幹 近藤 隆博

公開・非公開の別 (公 開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和4年11月1日

1 開 会 石橋公民館長 櫻井 亜佐美

2 委員長あいさつ 中川 賢一

3 議 事

(1) 令和4年度公民館利用状況について (資料1)

(2) 令和4年度講座受講状況について (資料2)

(3) 令和4年度公民館講座中間報告について (資料3)

(4) 公民館評価について (資料4)

(5) その他

4 その他

3 議 事

(1) 令和4年度公民館利用状況について

中川委員長	審議事項 議事(1)「令和4年度公民館利用状況について」審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。
	議事(1)について 下野市公民館利用状況調べについて全館の利用件数、利用人数の説明。続いて委員からの意見質問について事務局から回答。
	利用人数等について
	昨年度より比べるとコロナ感染症減少により、サークル活動も徐々に活発となり、増加傾向にあります。今後も利用促進に向け、対応をとっていきたいと考えている。
	国分寺公民館の利用増はコンサート等の開催に伴う、練習等の利用が要因と考えている。
	・生涯学習情報センターの講座対応について
再質問	社会教育から見れば、生涯学習文化課、図書館、生涯学習情報センターの講座、市民活動センターも同様ではないのか。市民から見れば同じと判断できる状況である。社会教育施設である公民館として、今後、どのような対応をしていくのか。
事務局	生涯学習文化課はその時の社会情勢を見ながら、同年度で実施している。図書館は3か所独自にその図書館の運営に沿ったものを同年度で実施している。また、生涯学習情報センターは年度当初、事業(5講座)を企画、実施しているが、年度当初にはない登録ボランティアの自主企画講座を実施するなど、市民によるボランティア活動の促進する活動を運営の柱としている。なお、市民活動センターは市民共同推進課所管で今年度5月に開館しているが、市民活動団体の支援を目的に設置されたものである。
	このことから、社会教育施設として位置づけられている公民館は家庭教育から高齢者という多くの世代に対し、教養、趣味、健康、生きがいを見出すための運営であり、講座を企画、実施している。
	いろいろな考え方、見方があると思いますので、十分に配慮しながら、運営につなげていただければと思う。
	ほかにご意見がなければ、次に進む。
中川委員長	

(2) 令和4年度講座受講状況について

中川委員長	審議事項 議事(2)「令和4年度講座受講状況について」審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。
再質問	議事(2)について 令和4年度講座受講状況について全館の説明。続いて委員からの意見質問について事務局から回答。
事務局	<p>・講座の次年度以降の計画について</p> <p>今年度、実施の講座には応募多数となり、抽選となったものが見受けられます。そのため、受講できなかった方々に対し、次年度、その講座を実施し、希望者全員が受講できるようににはできないものか。</p> <p>各館ともすべての講座ではありませんが、1講座以上は次年度も実施する計画である。ただし、2年目の講座において、すでに自主サークルが立ち上がっているものは自主サークルへの参加を促すように対応している。また、同様の講座が他館で実施するなど1館の講座としてではなく、下野市全体で受講できる体制としていきたい。</p> <p>スマホ講座であるが、この講座(3コマ)は基礎を身に付けていただくもので、令和2年度に南河内東公民館、生涯学習文化課で、令和3年度は南河内、国分寺公民館、また、南河内東公民館ではステップアップ講座として実施している。講座内容は応募時に使用している機種を確認し、講師1名が対応できる人数は10名までである。受講者は高齢者であり、電源を入れて通話できるだけの方が多く、機種の設定(音量調整等、その他多数)がわからない方が中心となっている。このため、南河内東公民館においても、ステップアップよりも基礎が中心となった。現在、南河内東公民館では、受講者へのフォロー活動を実施している。</p>
再質問	<p>・受講状況について</p> <p>歴史講座の人気の驚いている。特に古文書、古典が高いことをどう解釈していいのか。</p>
事務局	<p>歴史系の講座は以前から受講者が多い。近年、歴史資料の発見やそれに伴う解釈の見直しがなされようになり、増えていると考えられる。</p>
再質問	<p>・落選者対応について</p> <p>落選者への通知が行われているが、キャンセルの対応に落選者を当ててほしい。また、落選通知にその旨を明記してはどうか。案として、キャンセルの受付等。</p>
事務局	<p>キャンセルの受付をいつまでとするか、連絡順とするか等、不公平感が生じる。例として、南河内公民館は抽選時に対応として、キャンセル待ちのための抽選を実施している。</p>

(3) 令和4年度公民館事業中間実績報告について

中川委員長	審議事項 議事(3)「令和4年度公民館事業中間実績報告について」 審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。 議事(3)について 令和4年度公民館事業中間実績報告について 各館で説明。続いて委員からの意見質問について事務局から回答。
再質問	・「ママナビ」講座について お母さんのにとってよい活動と思います。ただし、今後は内容を検討 していただき、母、子が低学年までに読んでほしい本の紹介などを追 加していただきたい。
事務局	講師との対応(調整)があるため、明快な回答はできないが検討し ていきたい。
再質問	・「スマホ講座」について 受講状況でも話したが、今後はどのように企画、実施していくのか。 国分寺、石橋、南河内公民館の3館は実施する予定。今後は受講者 がボランティアとして参加していただければ、受講者枠の増も検討で きる。ただし、(2)で述べたとおり、現在の多くは初めてスマホを 持った高齢者が中心である。また、多くの応募者が受講できない状況 であり、まずは落選者をすくうことが最優先の課題である。ボランテ ィア活動への参加は8割程度の方がスマホの基礎を理解できないと 難しいのではないか。今後、どのような方法が課題の解決となるかを 検討していきたい。
再質問	・託児の対応について 託児を行った講座があり、良いことだと思います。今後も継続して ほしい。
事務局	コロナ前は生涯学習情報センター登録のボランティア団体への依 頼により、各館とも託児あり講座を2~3講座実施していた。現在は、 ボランティア団体の高齢化に伴う会員の減少、コロナ感染のリスク等 により、依頼を行っていない。今年度、国分寺公民館も当初は「託児 あり」ではなかったため、指導員等による対応となった。ただし、今 後、各館の講座等事業によっては対応できない可能性がある。

(4) 公民館評価について

中川委員長	次に議事(4)「公民館評価について」審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。 本日、配布した「公民館評価マニュアル」(案)について、評価指標 の統合を行ったことを説明する。 次回、第4回公民館運営審議会でご意見をいただき、修正等を行い、 最終決定とし、その後、事務局で実績等を記入し、送付後、委員皆様 に評価をいただくこととなる。
中川委員長	次回の審議会でご意見をいただき、評価指標の審議を実施する。

(5) その他

事務局	次回、第4回公民館運営審議会は12月中旬とし、決定次第通知を送付する。
中川委員長	質問がなければ本日の会議は以上で終了する。

4 その他

令和4年度公民館まつりについて

例年2月に実施している公民館まつりであるが、コロナのため、令和2年度は中止、令和3年度は自主サークル活動報告として対応してきた。

令和4年度はコロナ等（インフルエンザも懸念）のため、通常開催とはせず、「公民館自主サークル発表会」とし、展示をメインに1週間から10日程度行い、発表も時間をあけ、感染対策を行い、実施の検討をしている。

このため、実施の場合は大々的なPRはせず、自主サークルへの通知を主としたい。

開催日程は今後、各館で自主サークルとの打合せより決定する。

ただし、例年の日程を大きく変えずに実施したい。

閉会